



富士見市立東中学校

東中だより 東風



令和5年4月10日（月）

校長 丸山 丁士

～入学・進級おめでとうございます～

東京都心では最大瞬間風速 20.3 ㍎の強風が吹くなど、さきおとといの7日、関東地方は春の嵐に見舞われました。このときの風は“南風”。

“東風”吹く東中では本日、真新しい制服に身を包んだ新入生 95 名が、保護者の皆様や教職員に見守られ、大きな期待に少しの不安が入り交じる表情で、第 48 回入学式に臨みました。

午後の始業式に立派な態度で参加した在校生とあわせ、全校生徒 277 名の新たな門出です。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

私は、菅野 誠一 校長の後任として着任しました 丸山 丁士 (ちょうじ) と申します。富士見市内の小中学校を卒業し、教師 22 年目から 10 年間市内の中学校に勤務した後、4 年ぶりに富士見市に戻ってまいりました。昨年度までの2年間は、狭山市にある小学校に校長として勤務しておりましたが、「小学生ってこんなに立派だったかな?」と感心させられる児童に恵まれ、素敵な保護者や地域の方々にも支えられ、かけがえのない日々を過ごしました。

その前任校へ今月 1 日に行き、飼育しているウサギのお家 (兔小屋) を掃除し、食事を用意し (餌をあげ)、さらに少年サッカーチームの応援をしてきたのですが、昼下がりに本校に立ち寄ると、校庭ではサッカー部の生徒 4 人が自主練習をしていました。こちらから声をかける前に、「こんにちは!」と元気よく挨拶をしてくれた新 3 年生と新 2 年生。さすが、東中生。昔から、東中のマナーの良さは市内に知れ渡っています。そして、体育館から聞こえてくる吹奏楽部の力強くも美しい演奏が、心地よく校庭に響き渡っていました。このほんの 10 分ほどの出来事が、私を「中学校モード」^{いざな}へと誘ってくれました。

素晴らしい校風と伝統を築いてきた東中。その拠り所ともなっている合言葉 (学校教育目標) を、ここで改めて確認しておきたいと思います。



東中 学校教育目標

夢や希望をはぐくみ、一人一人が輝く学校

○自ら学び自ら考える生徒 ○思いやりのある生徒 ○心身ともに健康な生徒

私は、経験も実績も菅野校長に及ぶべくもありませんが、今後は東中と東中生の目標達成を実現するために、鋭意努力する所存でございます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。